

市政報告 「明日の習志野」 第10号

完全無所属

発行者：習志野市議会会派「明日の習志野」
代表 大宮こうた



2025年6月議会の様子。今回の一般質問の冒頭では、未来のために、具体的な計画を議論していく大事なタイミングであることを強く主張しました。



谷津干潟の夕暮れ。豊かな水辺とのふれあいを楽しめる空間をもっと増やしていきます。



彫刻刀等の教材の共用品化、テストやドリル等のあり方見直し等、習志野市から全国に広がるような取組を積極的に推進していきます。



県内初のコミュニティ・スクールである秋津小学校。学校を地域の拠点とする取組を重視して活動しています。

未来を創るまちづくり、3つの重点政策を推進中！

会派「明日の習志野」代表、大宮こうたです。いつもご支援、ご協力ありがとうございます。習志野市は、今、「基本構想」と「基本計画」という、まちづくりの長期ビジョンと具体的な計画を策定中です。私は、**市民生活に不可欠な「安全・安心」と「豊かさ」**について更なる充実を目指すことがまちづくりの基本と考えています。そのうえで、習志野市をもっと**魅力あふれるまち、ワクワクするまち**とするために、未来に向けた3つの重点政策を提起し、推進しています。今号はその概要を報告いたします。

① 水辺 ～谷津船溜、茜浜、菊田川の活用を！～

習志野市の持つ豊かさの一つとして谷津干潟をはじめとする水辺があり、その魅力はもっと増やすことができます。**水辺とのふれあい**を楽しめる空間を増やすことは、**自然との共生**を推進し、レクリエーション（散歩、スポーツ、眺望等）を楽しめる場を創ることになります。

具体的には、谷津干潟につながっている**谷津船溜を活用**して水辺を楽しめる公園にすること、**茜浜を総合的な視点でにぎわいを生み出す海辺**にすること、そして、**菊田川沿いを歩いて楽しめる場所**にしてハミングロードとつなげること等を提案し、その実現に向けて取り組んでいます。

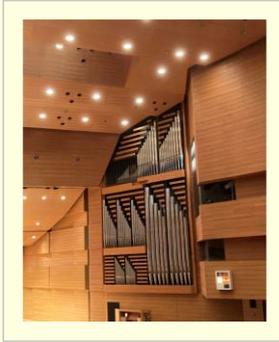
② 教育 ～義務教育の真の無償化、生涯学習の推進へ！～

教育は、幼児教育から生涯学習まで、豊かな生活の土台となるものであり、「文教住宅都市」として更なる充実を図っていくべきです。まず、義務教育においては、**学習教材の共用品化、学校徴収金の見直し**に取り組んでいます。共用品化は2024年度から**新規に予算が措置**され、学校徴収金は教育委員会から「**これまでと発想を変えて**」**見直す**という方針が示されました。具体的な成果の定着までしっかりとフォローしていきます。

生涯学習については、公民館、図書館、コミュニティセンターの機能を重視しており、今後は**小・中学校との一部複合化や隣接の推進**も選択肢の一つとすべきと考えます。**学校は地域の中核**であり、災害時には避難所となります。学校周辺に地域コミュニティ機能を集めて、日常の交流の場とすることで「**地域力**」が更に増し、災害時には**共助の場**となります。

③ 駅前開発 ～駅前のポテンシャル、新習志野駅周辺の活性化！～

習志野市には7つの鉄道駅があり、毎日、合計28万人前後の人が駅を歩き来しています。また、成田空港や羽田空港へのアクセスという点でも鉄道は習志野市の強みの一つです。これらの駅の周辺については、各駅の個性や現状、歴史を踏まえて更に整備・開発することでまちの活性化、生活の利便性の向上につながっていきます。



習志野文化ホールのパイプオルガン。2023年3月に閉館して約2年半。再開発全体の先行きが見えない中、文化ホール単体だけでも早期の使用再開を目指すべきです。



新習志野駅と秋津公園を直結させる歩道橋のイメージ。駅南北を一体的に捉えて、新習志野駅周辺を活性化していくために不可欠な事業です。早期実現を主張し、粘り強く協議しています。

JR 津田沼駅南口におけるモリシア跡地の再開発は、事業者による「一時中断」という残念な事態となっています。習志野市として、短期的には**文化ホールを早期に修繕・再開**すべきであり、長期的には、市有地に文化ホールを移転・建替えることも選択肢の一つと考えます（現在は建物の7%分しか習志野市は所有しておりません）。

市の新たな方針となる見込みの「**新習志野駅周辺の活性化**」については、住居地域と工業地域の混在は引き続き避けつつ、**広い駅前広場を活用**し、また、**駅北側の公園・住宅地へのアクセスを改善**することが、**新たなにぎわい**を生み出す一歩となります。長期的には、幕張方面と海方面に向かって、新しいまちづくりを段階的に進めていくことで、その活気を駅周辺のみならず習志野市全体に広げることになります。

成田空港の機能拡張計画で注目の高まる京成線各駅についても、まちづくりの潜在性は高く、各駅の駅前整備・開発に取り組んでいきます。

まちづくりへの想い:「完全無所属」の可能性、意義

報道各社による支持政党に関する世論調査を見ると、一番多い回答は「支持政党なし」です。私は、この回答結果に、**完全無所属の政治家として活動する可能性や意義**を感じています。既存政党や組織が受けとめきれない有権者の想いや声をしっかりと受けとめて、「**地元にとって良いかどうか**」という判断基準で、**ブレずに着実に活動**していきます。

オンラインでの報告:毎月行っています!

毎月一回、オンライン（Zoom）で、活動報告や意見交換を行っています。開催については以下の Web サイトでご案内します。「聞くだけ」、「画面 OFF」でも構いません。お気軽にご参加ください。

<https://www.omiya-kota.jp/meeting/>

会派・所属議員の紹介

【会派】明日の習志野（あすのならしの）

2023年5月、ワクワクする習志野を創るために結成された会派。特定の政党や組織の支援は一切受けずに、**対話重視、現場主義、前向きな提案**を活動指針としている。

【所属議員】①大宮こうた

1980年7月生まれ、1期目。東京大学教養学部卒、米国シラキュース大学行政大学院修了。JICA（国際協力機構）勤務後、**ワクワクするまちづくりで習志野を盛り上げる**ため、**完全無所属**で23年4月の市議選で当選（3位）。

ともに、明日の習志野へ

日常的な発信はブログ、X（旧 Twitter）、Instagram、ブログ、Youtube 等で行っています。オフィシャルサイトのリンクからご覧ください。**市政報告のバックナンバーもサイトから**ご覧いただけます。ご要望、ご意見等もお待ちしています。

特に、**一緒に習志野を盛り上げたい方、習志野市政に挑戦したい方、ぜひご連絡**をいただければ幸いです。ともに、明日の習志野に向かって、習志野市政に**前向きでワクワクする変化**をもたらしていきましょう!

【連絡先】✉ info@omiya-kota.jp 📞 090-9130-9434

